



今年の冬は暖冬で、まだ雪が積もった日はありません。それでも、このところは例年並みの寒さが来て、ようやく冬らしい日になりました。寒いのは苦手ですが、寒い時は寒くないといけません。春に咲く桜の花の目を覚まさせるのも冬の厳しい寒さだそうです。(冬眠打破というそうです。) そんな二月第二木曜日、甘樫丘で主に木々の冬芽&葉痕の観察をしました。



ガクアジサイ



アジサイ



イチジク



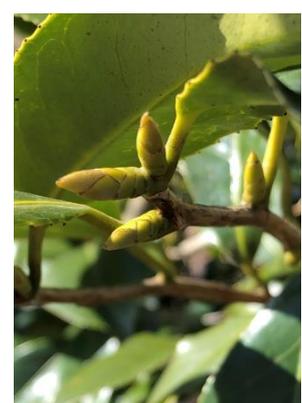
カキノキ



クリ



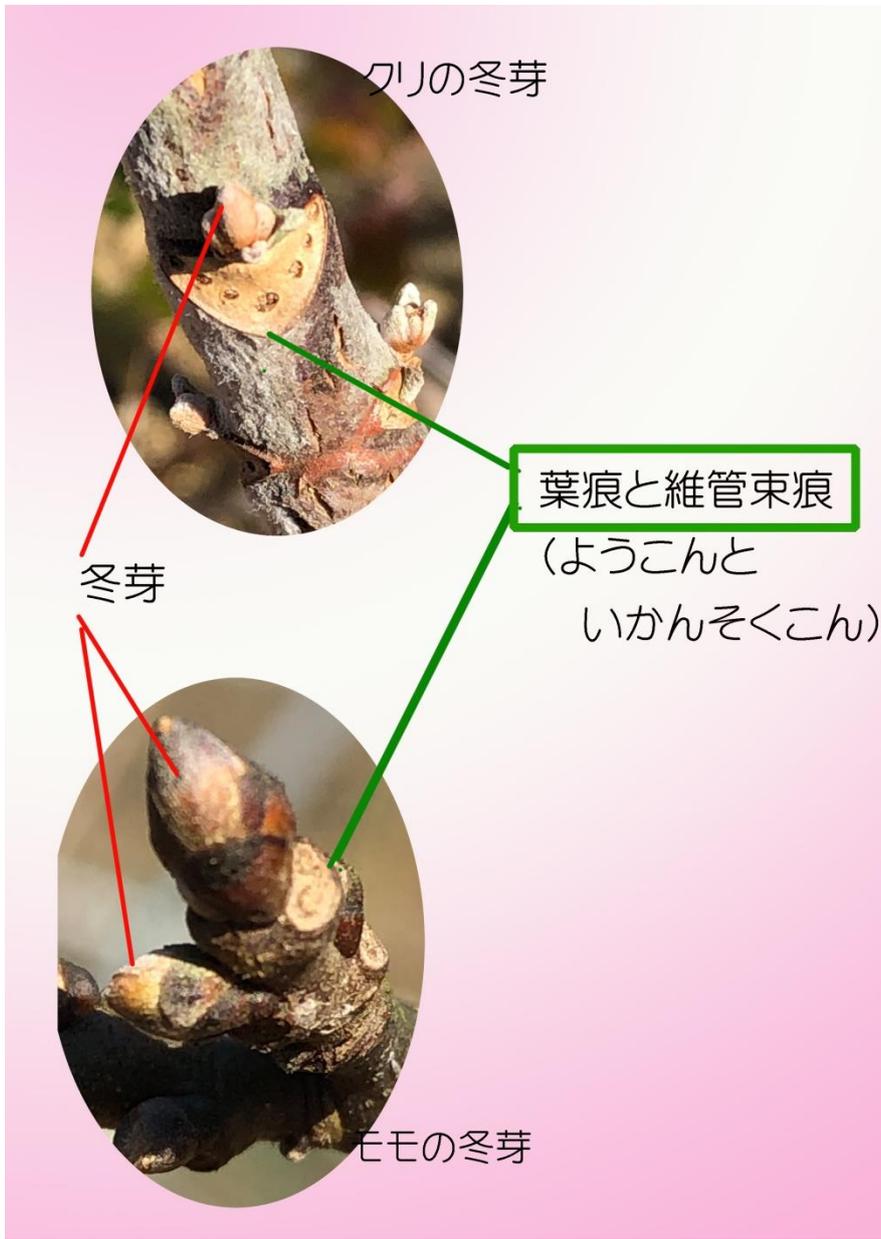
モモ



ツバキ

いつもは季節ごとの草木を中心に自然観察をしています。今日は視点を少し変えて落葉樹の冬芽や葉痕を中心に観察しました。

冬芽や葉痕の形は様々で、上にあるようにいろいろな形をしています。葉痕にはそれぞれ維管束(いんそく)一水や養分が通った管)の痕跡があって、それが顔かたちや目や鼻や口に見え、動物や人の顔を想像できて楽しかったです。



冬芽と葉痕を観察して回った後、冬芽をカットして中の様子を観察しました。サクラの冬芽には花芽と葉芽があって、花芽をカットするとその中にはちゃんと花の準備が整っていました。自然界の命をつないでいくための摂理の妙を垣間見た気がしました。



サクラの花芽カット



ツバキの花芽カット

甘樫丘の散策中、ノカンゾウの新芽やアマナの新芽が伸びていてもうすぐ春だなと感じる事が出来ました。



ノカンゾウ



アマナ



スイセン



ニシキギの観察中



タマゴケの観察中